

令和2年度第1回厚生労働省公共調達中央監視委員会 (第一分科会) 審議概要

開催日及び場所	令和2年6月24日(水)	
委員(敬称略)	第一分科会長 浅岡 輝彦 あさひ法律事務所 弁護士	
	委員	寛 淳夫 学校法人工学院大学建築学部 教授
	委員	枝松 広朗 あおば公認会計士共同事務所 公認会計士
審議対象期間	令和元年10月1日～令和2年3月31日の間における調達案件	
抽出案件	9件	(備考)
報告案件	0件	「報告案件」とは、各部局に設置された公共調達審査会で審議された案件について報告を受けたものである。
審議案件	9件	
意見の具申または勧告	なし	
委員からの意見・質問に対する回答等(※書面による質疑応答をまとめたもの)	意見・質問	回 答
	下記のとおり	下記のとおり

【審議案件1】

審議案件名 : リアルタイム定量RT-PCRキットの購入契約
 資格種別 : 「物品の販売」(「A」「B」又は「C」ランク)
 選定理由 : 一般競争入札を実施している案件中、落札率が100%であり、一者応札であるため
 発注部局名 : 国立感染症研究所
 契約相手方 : 株式会社チヨダサイエンス
 予定価格 : 6,933,960円
 契約金額 : 6,933,960円
 落札(契約)率 : 100%
 契約締結日 : 令和2年2月7日

(調達の概要)

一般競争入札(最低価格落札方式)を行ったところ、1者応札があり、株式会社チヨダサイエンスが契約の相手方となった。落札率は100%である。

意見・質問	回 答
<p>予定価格の算定根拠に、参考見積書価格2社分の価格のうち、一番低い価格を予定価格にしたとコメントされています。しかし、一番低い価格を採用することに、予定価格算定の場面では、合理性はないと思われます。これらの価格を参考にしながら、実績、実勢、需給状況等を勘案して、分析的に決定する必要があると思いますが、如何でしょうか。</p>	<p>今後は、見積金額を参考にしつつ過去の調達実績額と比較するなどして予定価格の算出を検討いたします。</p>
<p>参考見積を出したA社が入札しなかった理由は何ですか。</p>	<p>調達コスト等により入札価格が他社よりも高くなる見込であったため、社内での検討の結果、応札には至らなかったことを聞き取り確認しました。</p>
<p>今回は(株)チヨダサイエンスの参考見積価格をそのまま予定価格とし、(株)チヨダサイエンスはその価格で入札し、落札率100%で落札するという、まったく競争性が働いていない状況となったが想定内ということでしょうか。この点はどうですか。</p>	<p>複数業者から参考見積を徴取し、見積書を提出された業者に入札説明書も配布したため、競争性が働くものと考えていました。</p>
<p>むしろ緊急随契、価格交渉という手段は選択肢としてあり得たのかお考えをお聞かせください。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策で調達するものであるため、選択肢として緊急随契はあり得ましたが、予定価格が500万円以上であり、公共調達委員会に諮る案件となるため、開催時期と審査期間を勘案し、より早く調達できる一般競争入札による調達としました。</p>

<p>この2件（「リアルタイム定量 RT-PCR キットの購入契約」、「純水・超純水製造装置の購入契約」）を含め、令和2年1-3月期に国立感染症研究所において一般競争入札かつ一者応札かつ落札率100%の案件が、8件報告されています。またそのうち7件が株式会社チヨダサイエンスにより落札されています。どうしてこのような状況が発生したのでしょうか。</p>	<p>一般競争入札による調達であったものの、年度末の調達ということもあり公告期間を10開庁日としたこと、また所内での公告掲示やホームページへの掲載は行いましたが、業者への積極的な声かけが足りなかったことが一者応札につながったものと考えられます。</p> <p>また、株式会社チヨダサイエンスが納期限内に納品できる体制であったことが、7件を落札した要因と考えられます。</p>
<p>一者応札を防ぐため、また落札率100%を防ぐために、どのような対策を立てられ、今後どのような方策を立てようとしているのでしょうか。</p>	<p>過去に理化学機器の調達実績がある業者等へ広く積極的な声かけをすること、また予定価格の算出に際しては、過去の調達実績を参考にすることなどの方策により一者応札、落札率100%を防ぐこととします。</p>
<p>【審議案件2】 審議案件名：純水・超純水製造装置の購入契約 資格種別：「物品の販売」（「A」「B」又は「C」ランク） 選定理由：一般競争入札を実施している案件中、落札率が100%であり、一者応札であるため 発注部局名：国立感染症研究所 契約相手方：株式会社チヨダサイエンス 予定価格：4,807,935円 契約金額：4,807,935円 落札(契約)率：100% 契約締結日：令和2年2月18日</p>	
<p>(調達の概要) 一般競争入札（最低価格落札方式）を行ったところ、1者応札があり、株式会社チヨダサイエンスが契約の相手方となった。落札率は100%である。</p>	
<p style="text-align: center;">意見・質問</p>	<p style="text-align: center;">回 答</p>
<p>予定価格は、(株)チヨダサイエンスの参考見積書と同じ価格となっています。実績、実勢、需給状況等を勘案して、分析的に決定する必要があったと思われそうですが、如何でしょうか。</p>	<p>今後は、見積金額を参考にしつつ過去の調達実績額と比較するなどして予定価格の算出方法を検討いたします。</p>
<p>(株)チヨダサイエンスは参考見積価格をそのまま入札価格として入札し、落札率100%で落札するという、まったく競争性が働いていない状況となっています。想定内で緊急性を優先したと感じられますが、如何でしょうか。</p>	<p>年度末の調達であったことから、公告期間を10開庁日としたこと、また所内での公告掲示やホームページへの掲載は行いましたが、業者への積極的な声かけが足りなかったことから一者応札につながり、結果的に落札率が100%になってしまったと考えられます。</p>
<p>むしろ緊急随契、価格交渉という手段は選択肢としてあり得たのかどうかお考えをお聞かせください。</p>	<p>緊急性のある案件ではなかったため、緊急随契は想定していませんでした。</p>
<p>この2件（「リアルタイム定量 RT-PCR キットの購入契約」、「純水・超純水製造装置の購入契約」）を含め、令和2年1-3月期に国立感染症研究所において一般競争入札かつ一者応札かつ落札率100%の案件が、8件報告されています。またそのうち7件が株式会社チヨダサイエンスにより落札されています。どうしてこのような状況が発生したのでしょうか。</p>	<p>一般競争入札による調達であったものの、年度末の調達ということもあり公告期間を10開庁日としたこと、また所内での公告掲示やホームページへの掲載は行いましたが、業者への積極的な声かけが足りなかったことが一者応札につながったものと考えられます。</p> <p>また、株式会社チヨダサイエンスが納期限内に納品できる体制であったことが、7件を落札した要因と考えられます。</p>
<p>一者応札を防ぐため、また落札率100%を防ぐために、どのような対策を立てられ、今後どのような方策を立てようとしているのでしょうか。</p>	<p>過去に理化学機器の調達実績がある業者等へ広く積極的な声かけをすること、また予定価格の算出に際しては、過去の調達実績を参考にすることなどの方策により一者応札、落札率100%を防ぐこととします。</p>
<p>どういう経緯で(株)チヨダサイエンスから見積りをとることにしたのでしょうか。</p>	<p>過去に理化学機器の調達実績がある業者だったためです。</p>

<p>相見積りをとることもしないで、(株)チヨダサイエンスの見積り額を予定額とした理由は何でしょうか。</p>	<p>過去に純水・超純水製造装置の入札に応札した業者にも見積依頼をしたところ、(株)チヨダサイエンスのみが応じました。 予定価格の算出に際して、見積比較が出来ない場合は、契約を履行できると判断した業者の見積額を実勢価格と考え、予定価格としているためです。</p>
---	--

<p>【審議案件 3】 審議案件名 : 放射線モニタシステム更新工事請負契約 資格種別 : 「役務の提供等」 (「A」 「B」 又は 「C」 ランク) 選定理由 : 一般競争入札を実施している案件中、低入札価格調査を実施しているため 発注部局名 : 国立感染症研究所 契約相手方 : オリオン・ラドセーフメディカル株式会社 予定価格 : 27,000,000円 契約金額 : 13,035,000円 落札(契約)率 : 48.28% 契約締結日 : 令和元年10月7日</p>	
--	--

(調達の概要)
 一般競争入札(最低価格落札方式)を行ったところ、2者応札があり、オリオン・ラドセーフメディカル株式会社が契約の相手方となった。落札率は48.28%であり、低入札価格調査を行った。

意見・質問	回答
<p>参考見積書を徴取した事業者の選定経緯をお聞かせください。</p>	<p>当庁舎のR I 施設の総合メンテナンス業務の実績があり、当該施設について熟知している業者を選定しました。</p>
<p>低入調査の案件となっています(入札率48.2%)。入札価格は11.8百万円と17.8百万円で、予定価格に比し、非常に低い価格となっています。予定価格が高すぎたということはないですか。</p>	<p>本件では、入札者が当所でのR I 関係保守点検業務実績での経験や、他の官公庁等への納入実績で培った知見を活かし、調達のコスト減を図ったことにより低い入札率となりました。今後は極力複数者から見積もりを徴し、予定価格の算出がより適切になるよう努めます。</p>
<p>落札者の出した参考見積価格を何の評価もしていないようです。参考見積価格をそのまま予定価格としたと記載されています。同種実績価格、実勢等の調査をして科学的に予定価格を決定しておけば、このような事態にはならなかったのではないのでしょうか。</p>	<p>予定価格の算出方法については、今後は実績等を勘案し、分析的に決定する方法が可能か検討いたします。</p>
<p>「調達のコスト減を図っていることを確認した」とは具体的にどのようなことですか。</p>	<p>当庁舎のR I 施設の特性を熟知していることにより、業務の遂行にあたり必要な事前調査等の省略や不要な人件費の削減が可能になったことが挙げられます。</p>
<p>予定価格を一者からの参考見積を使って作成しているが、複数者からの参考見積により、精度の高い予定価格の設定はできなかったのでしょうか。</p>	<p>今後は極力複数者からの見積もりを徴し、予定価格の算出がより適切になるよう努めます。</p>

<p>【審議案件 4】 審議案件名 : 敷地内ロータリーの舗装及び雨水浸透槽の設置等工事 資格種別 : 「建築一式」 (「C」 又は 「D」 ランク) 選定理由 : 一般競争入札を実施している案件中、落札率が高く、一者応札であるため 発注部局名 : 国立感染症研究所 契約相手方 : 有限会社矢島工業 予定価格 : 36,317,134円 契約金額 : 36,300,000円 落札(契約)率 : 99.95% 契約締結日 : 令和2年3月25日</p>	
---	--

<p>(調達の概要) 一般競争入札（最低価格落札方式）を行ったところ、1者応札があり、有限会社矢島工業が契約の相手方となった。落札率は99.95%である。</p>	
意見・質問	回 答
<p>一者応札の要因分析で、「他の業者・・・人員確保できなかった」は、その情報の入手経路を教えてください。</p>	<p>入札説明書を配布したが、応札されなかった業者より情報収集を行いました。</p>
<p>一者応札、入札回数が3回となり落札率が極めて高い案件となりました。一者応札となってしまった理由として、人員確保の困難性が挙げられていますが、手続きの面で何か足りなかった点はありませんか。入札の周知方法に問題はなかったでしょうか。</p>	<p>応札されなかった業者によると、本工事と同時期に他の工事を受注したため、現場監督を行う者が確保できなかったとのことでした。 今後は、当庁舎の工事实績のある業者を中心に幅広く入札情報の周知を図ることにより、一者応札を解消いたします。</p>
<p>予定価格はA社の参考見積をもとに作ったと書いてありますが、どのように参考にしたのですか。すなわちどのような分析評価をしたのですか。A社の参考見積書の右欄に参考見積単価とありますが、これはどのようなものですか。客観的な指標となりうるものですか。</p>	<p>予定価格の算出に当たっては、分析評価をする見解がないことから、設計を依頼した業者が作成した参考見積価格をそのまま採用しています。 なお、「参考見積単価」と記載のある項目において、標準単価をそのまま採用することが適当ではない特殊な項目については、公共工事の請負実績のある業者よりヒアリングして算出した単価となっています。</p>
<p>一者応札となった理由として、人員確保をあげているが、これはどのようにして調べたのでしょうか。また、このような理由による一者応札を避けるための、今後の対策はないのでしょうか。</p>	<p>応札されなかった業者によると、本工事と同時期に他の工事を受注したため、現場監督を行う者が確保できなかったとのことでした。 今後は、当庁舎の工事实績のある業者を中心に幅広く入札情報の周知を図ることにより、一者応札を解消いたします。</p>
<p>【審議案件5】 審議案件名：ハンセン病研究センター排水処理設備改修工事 資格種別：「電気、管又は機械器具設置」（「B」又は「C」ランク） 選定理由：一般競争入札を実施している案件中、落札率が高く、一者応札であるため 注部局名：国立感染症研究所 契約相手方：株式会社エンバイシス 予定価格：50,380,000円 契約金額：50,050,000円 落札(契約)率：99.3% 契約締結日：令和元年10月21日</p>	
<p>(調達の概要) 一般競争入札（最低価格落札方式）を行ったところ、1者応札があり、株式会社エンバイシスが契約の相手方となった。落札率は99.3%である。</p>	
意見・質問	回 答
<p>見積りをとる事業者は、何をもとに決めたのでしょうか。</p>	<p>入札関係資料の配布希望の連絡があった業者に対し、見積もりを依頼しました。</p>
<p>見積を徴するにあたって事業者に開示する資料は何でしょうか。</p>	<p>仕様書のほか、入札説明書、現場説明書及び概要図、競争契約入札心得を入札参加希望者への配布資料としており、見積もり依頼した業者に対しても、これらを提供しました。</p>
<p>予定価格が、殆んど事業者の見積りどおり、他の資料に照らした検証はしないのでしょうか。</p>	<p>予定価格の算出に際し、今後は参考見積価格を参考としつつ、公共建築工事積算基準等資料等も参照いたします。</p>

<p>今回落札した(株)エンバイシスからの参考見積価格をそのまま予定価格としているが、この価格の適正性が検証されていません。2者から取った参考見積価格の低い方が必ずしも適正な予定価格とはいえません。過去の同様の調達の実績価格や現在の経済状況を反映した実勢価格を調査して適正な評価をして、予定価格を算定すべきであるが、その過程が資料からは見えてこないが、如何でしょうか。</p>	<p>今後は参考見積価格を参照としつつ、過去同様の調達実績や経済状況を反映した実勢価格を調査する等に努め、より適切な予定価格を算出いたします。</p>
<p>参考見積書は2者から取られているが、見積価格に大きな隔たりがあります。理由をどう分析していますか。</p>	<p>入札関係資料の配布希望の連絡があった2者から見積書を提出いただいたところです。後日、応札されなかった者に問い合わせしたところ、当時は工事案件が多数あったことから、この程度の金額であれば、引き受けても良いとする見積価格を提示したとのことでした。</p>
<p>この2者を選んだ理由は何ですか。</p>	<p>入札関係資料を配布した3者に参考見積書の提出を依頼したいとしていました。参加希望者からは提出いただきました。残りの2者からは参加しないとの連絡がありましたが、1者は参考見積書の提出はしていただけたところです。</p>
<p>参考見積を依頼する会社に偏りはないですか。</p>	<p>入札関係資料を配布した3者に依頼しようとしていました。</p>
<p>一者応札になった要因分析として、東京オリンピック・パラリンピックの影響を取り上げているが、このことはどのようにして調べたのでしょうか。それとも一般論を述べているのでしょうか。</p>	<p>応札辞退者へ問い合わせたところ、オリパラ関連工事のため業務がたて込んでおり、日程的に厳しく人手不足とのことでした。監督者が不足しているので、監督者の確保がしやすい、より長期の仕事を確認するよう努めたものと思慮しています。</p>
<p>一者応札を避けるために、今後の方策として、広告の方法、仕様書の内容、予定価格の設定方法などで考えられることはないでしょうか。</p>	<p>公告期間や工期を少しでも長くすることにより、時間的制限を少しでも減らすように努め、少しでも応札しやすい案件にする工夫をいたします。</p>
<p>【審議案件6】 審議案件名 : ハンセン病研究センター第一実験動物棟実験室空調設備更新工事 資格種別 : - 選定理由 : 随意契約を実施している案件中、当初の入札にて応札者がなく、不落随契となっているため 発注部局名 : 国立感染症研究所 契約相手方 : ダイキンエアテクノ株式会社 予定価格 : 11,033,000円 契約金額 : 10,835,000円 落札(契約)率 : 98.2% 契約締結日 : 令和元年12月16日</p>	
<p>(調達の概要) 一般競争(最低価格落札方式)を行ったが、落札者がなかったため、予算決算及び会計令第99条の2に基づく随意契約を行った。</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回 答</p>
<p>応札者がいない、との判断は、どのような事情のもとなのでしょうか。</p>	<p>当初の入札公告において6者に案内しましたが、競争参加資格確認申請書提出期限日を経過しても入札参加者がなかったため、再度入札公告を行い10者に案内しましたが、入札参加者がなかったため、入札不調となりました。</p>
<p>2回の入札でいずれも不落になってしまった理由をどのように分析していますか。</p>	<p>もともとオリパラで工事関係業務が多かったことや房総半島での災害発生が重なり、この規模の工事よりも他に大規模な工事があり、本工事案件に関心を持つ者がいなかったのではないかと分析しています。</p>

<p>今回落札したダイキンエアテクノ(株)を随意契約候補者として選定した経緯を教えてください。</p>	<p>甲武宮繕事務所に相談したところ、入札不調が現在多数発生しているが、特に紹介できる業者はないとのことだった。参加資格者名簿をもとに業者に当たってくださいというアドバイスをもとに、当たった結果、3者から見積書の提出を受け、結果当該業者との契約となったものです。</p>
<p>不落随契とのことだが、不落に至った入札の経緯、また随契を行うにあたってどのような手順を踏んだのかを示していただきたい。</p>	<p>(別途資料より抜粋) オリンピック関連事業や小中学校・工場のエアコン設置工事と重なる等、企業の作業員不足をはじめ、台風等による被災地での災害復旧の影響で工事に必要な人員の確保が厳しくなったことが不調の要因として考えられる。 ○8月 ・ホームページ及び3庁舎（戸山、村山、ハンセン）にて入札公示。6者に公告案内。 ○9月 ・台風15号 激甚災害に指定される。 ・応札者なく入札不調。 ・参加資格をB、C等級からA、B等級へ変更の上、ホームページ及び3庁舎（戸山、村山、ハンセン）にて2回目の入札公示。10者に公告案内。 ○10月 ・応札者なく入札不調。 ・台風19号 広範囲にわたり河川の氾濫、崖崩れが発生。 ・競争参加有資格者名簿から空調工事業者を抽出、電話連絡や資料の送付を実施。 ○12月 ・3者から見積書を受理。 ・予定価格の範囲内で見積書を提出したダイキンエアテクノ株式会社から積算数量参考書を提出してもらい、工期限内に履行可能であることを確認の上、契約を締結。</p>
<p>【審議案件7】 審議案件名：特定健診・特定指導データファイルソフトNET Framework他対応業務 資格種別：「役務の提供等」情報処理又はソフトウェア開発（「A」「B」又は「C」ランク） 選定理由：一般競争入札を実施している案件中、落札率が100%であり、一者応札であるため 発注部局名：国立保健医療科学院 契約相手方：株式会社ファーストシステムコンサルティング 予定価格：9,900,000円 契約金額：9,900,000円 落札(契約)率：100% 契約締結日：令和2年1月8日</p>	
<p>(調達の概要) 一般競争入札（最低価格落札方式）を行ったところ、1者応札があり、株式会社ファーストシステムコンサルティングが契約の相手方となった。落札率は100%である。</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回 答</p>
<p>見積業者の選定は、手続のどの段階で、かつ見積に応じてくれる業者の情報は何によって得るのでしょうか。</p>	<p>見積業者の選定は、当該システムの運用保守業務に携わっている業者や、入札説明書を取りに来る業者に確認を取っています。</p>

<p>予定価格算定の参考と見積は、「一式いくら」に近く、参考とならないのではないのでしょうか。</p>	<p>参考見積書の内訳については、調査設計から本番化までを工程として捉えておりましたが、今後は仕様に基づいた形で詳細に記載していただくよう注意いたします。</p>
<p>予定価格の算定根拠に、参考見積書価格 2 者分、積算資料単価を用いて作った独自算定価格の 3 つの価格のうち、一番低い価格を予定価格にしたとコメントされています。しかし、一番低い価格を採用することに、予定価格算定の場面では、合理性はないと思われます。これらの価格を参考にしながら、実績、実勢、需給状況等を勘案して、分析的に決定する必要があると思いますが、如何でしょうか。</p>	<p>今後は、ご指摘の点を踏まえ、実績、実勢、需給状況等を勘案して分析的に予定価格を決定していきます。</p>
<p>今回はA社の見積価格をそのまま予定価格とし、A社はその価格で入札し、落札率 100%で、既存システムの納入業者であるA社が落札するという、まったく競争性が働いていない状況を作り出しています。</p>	<p>予定価格の算定に当たり、結果としてA社の見積価格が最安値となってしまう、落札率が100%となってしまうましたが、今後は、見積価格を参考に、実績、実勢、需給状況等を勘案して、分析的に予定価格を決定し、また複数業者が入札に参加できるよう、業者の履行期間にも配慮した調達を心がけます。</p>
<p>一者応札が予想されるような場合の対策として価格が高止まりしないように、予定価格を精緻に算定する必要があるのではと思いますが、如何でしょうか。</p>	<p>予定価格の算定については、見積額等を参考にし、うえて、実績、実勢、需給状況等を勘案して分析的に予定価格を算定するよう努力いたします。</p>
<p>この2件（「特定健診・特定指導データファイルソフト.NET Framework他対応業務」、「臨床研究（試験）情報検索ポータルサイトのプログラム開発言語の変更および効率化並びにデータベース統合業務」）を含め、令和2年1-3月期に国立保健医療科学院において一般競争入札かつ一者応札かつ落札率100%の案件が、5件報告されています。どうしてこのような状況が発生したのでしょうか。</p>	<p>予定価格の算定方法について、複数業者の見積額と独自算定価格を比較の上、最安値の見積額を予定価格として決定しましたが、結果として、業者の見積額がそのまま予定価格となってしまったため、このような状況になったのではないかと考えられます。</p>
<p>一者応札を防ぐため、また落札率 100%を防ぐために、どのような対策を立てられ、今後どのような方策を立てようとしているのでしょうか。</p>	<p>一者応札を防ぐには、業者の履行期間等に余裕をもたせた調達を行い、複数業者が参加しやすいように配慮し、落札率については、見積額がそのまま予定価格とならないよう、見積価格を参考に実績、実勢、需給状況等を勘案して分析的に決定するよう対応いたします。</p>
<p>【審議案件 8】 審議案件名：臨床研究（試験）情報検索ポータルサイトのプログラム開発言語の変更および効率化並びにデータベース統合業務 資格種別：「役務の提供等」情報処理又はソフトウェア開発（「A」「B」又は「C」ランク） 選定理由：一般競争入札を実施している案件中、一者応札であり、落札率が100%であるため 発注部局名：国立保健医療科学院 契約相手方：フェイス・ソリューション・テクノロジーズ株式会社 予定価格：8,998,000円 契約金額：8,998,000円 落札(契約)率：100% 契約締結日：令和2年1月21日</p>	
<p>(調達の概要) 一般競争入札（最低価格落札方式）を行ったところ、1者応札があり、フェイス・ソリューション・テクノロジーズ株式会社が契約の相手方となった。落札率は100%である。</p>	

意見・質問	回 答
<p>予定価格の算定根拠に、参考見積書価格 2 者分、積算資料単価を用いて作った独自算定価格の 3 つの価格のうち、一番低い価格を予定価格にしたとコメントされています。しかし、一番低い価格を採用することに、予定価格算定の場面では、合理性はないと思われま。これらの価格を参考にしながら、実績、実勢、需給状況等を勘案して、分析的に決定する必要があると思いますが、如何でしょうか。</p>	<p>今後は、ご指摘の点を踏まえ、実績、実勢、需給状況等を勘案して分析的に予定価格を決定していきます。</p>
<p>今回はA社の見積価格をそのまま予定価格とし、A社はその価格で入札し、落札率100%で、既存システムの納入業者であるA社が落札するという、まったく競争性が働いていない状況を作り出しています。</p>	<p>予定価格の算定に当たり、結果としてA社の見積価格が最安値となってしまう、落札率が100%となってしまうましたが、今後は、見積価格を参考に、実績、実勢、需給状況等を勘案して、分析的に予定価格を決定し、また複数業者が入札に参加できるよう、業者の履行期間にも配慮した調達を心がけます。</p>
<p>一者入札が予想されるような場合の対策として価格が高止まりしないように、予定価格を精緻に算定する必要があるのではと思いますが、如何でしょうか。</p>	<p>予定価格の算定については、見積額等を参考にしながら、実績、実勢、需給状況等を勘案して分析的に予定価格を算定するよう努力いたします。</p>
<p>同じ時期に調達内容が酷似している調達案件があります（「臨床研究（試験）情報検索ポータルサイトの検索機能改良業務」）。これらの調達はどのように異なるのですか。分けて調達する合理性はあるのですか。穿った見方をすると、調達額を1千万円以下に抑えるために分割発注したともとれますが、そうではなかった理由を教えてください。</p>	<p>「臨床研究（試験）情報検索ポータルサイトのプログラム開発言語の変更および効率化並びにデータベース統合業務」は、既存システム（プログラム）の言語変更並びに扱っているデータ（既存・新規データ）の形式変更を目的としたもので、当該プログラム言語の構造を解析・把握するとともにデータベースがデータを内部的にどのように扱っているかのアルゴリズムの再解析を要する業務となります。</p> <p>「臨床研究（試験）情報検索ポータルサイトの検索機能改良業務」は、データベースの検索機能を充実させるための検索エンジンの新規設計を目的としたもので、システムの機能改良が業務となり、名称は似ていますが、両調達案件は必要とされる技術的専門分野が異なるため、分かれております。</p>
<p>この2件（「特定健診・特定指導データファイルソフト.NET Framework他対応業務」、「臨床研究（試験）情報検索ポータルサイトのプログラム開発言語の変更および効率化並びにデータベース統合業務」）を含め、令和2年1-3月期に国立保健医療科学院において一般競争入札かつ一者応札かつ落札率100%の案件が、5件報告されています。どうしてこのような状況が発生したのでしょうか。</p>	<p>予定価格の算定方法について、複数業者の見積額と独自算定価格を比較の上、最安値の見積額を予定価格として決定しましたが、結果として、業者の見積額がそのまま予定価格となってしまったため、このような状況になったのではないかと考えられます。</p>
<p>一者応札を防ぐため、また落札率100%を防ぐために、どのような対策を立てられ、今後どのような方策を立てようとしているのでしょうか。</p>	<p>一者応札を防ぐには、業者の履行期間等に余裕をもたせた調達を行い、複数業者が参加しやすいように配慮し、落札率については、見積額がそのまま予定価格とならないよう、見積価格を参考に実績、実勢、需給状況等を勘案して分析的に決定するよう対応いたします。</p>

<p>本件も、また「リアルタイム定量RT-PCRキットの購入契約」、「特定健診・特定指導データファイルソフト.NET Framework他対応業務」も同様に、2社から見積りをとり、安い見積価格を予定価格とし、その見積り業者が見積価格どおりで落札している。意図的な操作がなされていると疑われるのではないのでしょうか。</p>	<p>予定価格の決定に当たり、結果として最安値の見積価格となってしまったことが、応札業者にとって予想されやすいものになったと考えられます。全体的に予定価格の算定の仕方に精緻性が欠けていたことからこのような状況が発生したと認識し、今後は参考見積価格を参考に実績、実勢、需給状況等を勘案して、分析的に算定するように努めます。</p>
<p>【審議案件9】 審議案件名：国立療養所星塚敬愛園高架水槽更新整備工事 資格種別：「建築一式」又は「土木一式」（「A」又は「B」ランク）（九州・沖縄地域） 選定理由：総合評価落札方式を実施している案件中、落札率が最も高く、一者応札であるため 発注部局名：国立療養所星塚敬愛園 契約相手方：株式会社安部日鋼工業 予定価格：439,804,200円 契約金額：437,800,000円 落札(契約)率：99.5% 契約締結日：令和元年10月7日</p>	
<p>(調達の概要) 一般競争入札（総合評価落札方式）を行ったところ、1者応札があり、株式会社安部日鋼工業が契約の相手方となった。落札率は99.5%である。</p>	
<p style="text-align: center;">意見・質問</p>	<p style="text-align: center;">回 答</p>
<p>参加資格に「鹿児島、宮崎県内所在要件」を要求しているが、これにより自ら門戸を狭めているのではないのでしょうか。</p>	<p>鹿児島、宮崎だけでも120社ほどの業者数があるため門戸を狭めているとは思っておりません。</p>
<p>入札状況調査票に評価値とありますが、これはどういうものですか。技術評価という意味であれば、どのように技術評価したのでしょうか。</p>	<p>入札公告 3(3) 評価の方法及び落札者の決定にも記載がありますように評価値＝((標準点＋加算点)／(入札価格))の最も高い者を落札者としています。また、技術評価については当園より2名、外部委員2名により技術提案書について評価を行い、平均点として算出しております。入札状況調査票の表中にある加算点11.5が技術評価を行った結果です。</p>
<p>技術提案書加算点評価表の中で、「ワークライフバランス等の推進に関する指標」及び「事故及び指名停止について」の2項目について、加算点がゼロ点となっています。これは評価した結果がゼロ点であったということなのであれば評価内容と結論の根拠を教えてください。もし、評価対象から外したのであれば、その理由を教えてください。</p>	<p>前回、追加資料で送信致しました「技術評価したのかを示す資料」に記載してある、えるぼし認定企業やプラチナくるみん、ユースエール認定等を取得している業者さまを評価するようにしています。今回の入札ではこの項目についての資料提出がなく確認したところ、該当していないために評価がゼロ点となりました。また、事故及び指名停止については減点評価であり、この項目についても確認したところ、指名停止等の処分がなかったためゼロ点評価としてあります。</p>
<p>総合評価落札方式であれば、技術点と価格点をどのように使用して総合評価をしたのですか。</p>	<p>評価値＝((標準点＋加算点)／(入札価格))の最も高い者を落札者としています。</p>
<p>予定価格算定の際に参考見積は取らなかったのですか。</p>	<p>予定価格については設計コンサルに依頼しており単価ごとに国土交通省土木工事標準積算基準や代価表、見積比較表により算出しています。予定価格内訳書は各工事ごとの総括内訳部分を抜粋して添付してあります。</p>

<p>落札率が99.5%という非常に高いものとなった理由をどのようにお考えですか。</p>	<p>今回の入札は3回目の公告により契約ができました。1回目は参加者がいないため不調となり、2回目は予定価格に達しなかったため不調となりました。2回目の結果を踏まえて、内容の見直し(仕様の見直し)を行い、ようやく契約を行うことができました。その結果、落札率が高くなったのではないかと考えております。</p>
<p>新聞広告を出してもなお応札者が一者であった理由は工事需給が逼迫していること以外に何かありますか。どうしても落札率が高止まりしてしまいます。</p>	<p>工事需給が逼迫していること以外には考えられません。当園の実績のある業者にも参加を促しましたが地元でも学校関係の発注が相次いであったり、国体以外にも仕事量が多いためだと思います。</p>
<p>一者応札の要因分析として、「特殊な工事」「国体で業者が忙しい」の2点を挙げていますが、これはどのように調べて要因として分析したのでしょうか。</p>	<p>当園の実績のある施工業者へ話を聞いた結果です。高架水槽そのものが特殊であるため、入札時の施工実績には高架水槽だけではなく配水池も含めて公告しており、緩和した内容になっております。(新設だけではなく増設、改修も含み、さらに緩和しています。)また、当園において他の工事でも近年、参加者が以前にくらべて少数であり、施工業者に参加者が少数である理由(最近の仕事の状況について)を聞いたものです。</p>

4 4 都道府県労働局における公共調達監視委員会の活動状況については資料の配付をもって報告を行った。

【問合せ先】

厚生労働省大臣官房会計課会計企画調整室
電話03-5253-1111 (内7965)